



～認知症カフェを知っていますか～

「認知症カフェ」とは、認知症の人やその家族や地域住民が集う場所として国が推進している『認知症の人を地域で支えるための活動』のひとつです。

地域の人たちが気軽に集い、認知症の人や家族の悩みを共有し合いながら、専門職に相談もできる場所となっています。認知症カフェは、カフェという自由な雰囲気の中で、支える人と支えられる人という隔てをなくして、地域の人たちが自然に集まれる新しい場所です。

各カフェによって運営スタイルは様々です。例えば、自由に時間を過ごしてもらい当事者同士・家族同士等が話をしたり、必要に応じてスタッフや専門職に気軽に相談ができるようなカフェもあれば、歌や工作など様々なプログラムを用意して、認知症の人の潜在能力を高めたり、暇をもてあそばないように工夫したりしているカフェもあります。その他には、医療や介護の専門職が役立つ情報提供をしながら、みんなで学ぶ場としてカフェを活用しているタイプや、認知症の当事者が活躍できる場としてカフェの運営を行っている所などもあります。



認知症カフェを運営しているのは、個人またはNPO法人や介護事業所などの団体が多いですが、認知症の当事者とその家族、地域住民が主体となって開設しているところもあります。

調布市にもいくつか介護者の為のカフェや地域の集いの場はありますが、認知症カフェは多くありません。これから認知症の方がふえていく中、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの1つとして、認知症カフェは欠かせないものになります。

調布市でもこの活動の場を増やしていくことが必要ではないでしょうか。当地域包括支援センターでも、地域の皆様と一緒に取り組んでいきたいと思っています。ご興味のある方は是非ご連絡お願いいたします。

調布市地域包括支援センター至誠しばさき/TEL:042-488-1300

認知症カフェに
行ってみたい！
手伝いたい！
興味がある方
いませんか？

調布市地域包括支援センター至誠しばさき 職員紹介コーナー

桑原 景子(くわばらけいこ)
予防プランナー

佐藤 今日子(さとうきょうこ)
社会福祉士

時弘夏美(ときひろなつみ)
見守りネットワーク担当

柴 元之(しばもとゆき)
認知症地域支援推進員
在宅介護医療連携担当



原田 千恵(はらだちえ)
予防プランナー

鈴木祐子(すずきゆうこ)
主任介護支援専門員

木内徹子(きうちてつこ)
看護師

地域包括支援センターは、調布市から委託を受け、高齢者とそのご家族の為の、介護や福祉に関する総合相談窓口です。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

平成30年1月に入職しました原田千恵と申します。予防プランナーとして、要支援の方のケアプランの作成を主に担当をしています。今までは、特別養護老人ホームや訪問介護など介護の現場に勤めていました。地域の皆さんから色々教えて頂きながら、頑張っていきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

出身地：日野市 趣味：城めぐり・歴史好き

出張講座致します！！

地域の自治会・老人会・サークルグループ・ボランティアグループ・商店街や個人等のご要望に合わせて、福祉・健康についてなど出前講座を無料にて行います。お気軽にご相談ください。講座をご希望の場合には、5名以上の参加者をお願いします。

「介護保険について」 「調布の福祉サービス」 「成年後見制度」
「認知症予防」「認知症ケア・対応方法」「認知症サポーター養成講座」
「介護予防・・・口腔、栄養、転倒予防」
「介護教室・・・排泄介助・移動介助・介護技術」

「終活講座」 「施設について」 「地域包括ケアシステム」 など
申し込み先：調布市地域包括支援センター至誠しばさき

☎：042-488-1300 住所：調布市菊野台1-52-4

菊野台1丁目／柴崎／佐須町1・2・4・5丁目／深大寺南町／深大寺東町2・3丁目